

わ
っ WAKKA

鳥取市のまちなかを
応援する情報誌

2024
AUTUMN &
WINTER

vol.

54



特集 **美しいものは、日常の中にある**

FREE
ご自由にお取り
ください

美しいものは、日常の中にある



本当に美しいものは、日常で使うものにある。柳宗悦がうたった『用と美』を根付かせようと、鳥取民藝運動を先導した吉田璋也が民藝専門店であるたくみ工芸店を立ち上げたのが今から92年前。その『民藝館通り』に今年、新たに『たくみ珈琲店』が誕生した。地元の作を中心に民藝の器を使い、こだわりのコーヒーや食事を楽しめる。鳥取の民藝を身近に感じられると、人気を集めている。今号では『民藝』をキーワードにつながる3人にお話を伺った。

まちなかで新しい挑戦

「正直、ビジネスとしては難しいと思います。自分が貢献できることがあるならやりたいと思ったのと、僕も民藝が好きなんですよね」

そう話すのは、たくみ珈琲店を運営する合同会社クラストの山根大樹さん。2002年に本通りにカフェを開き、その後もまちなかに多数飲食店を作ってきた。そのノウハウを活かし、鳥取の文化に貢献したいと出店を決めた。

「カフェをやりたいと考え始めた20代の頃、民藝が再注目されカッコいいと思った。その中心地の一つが鳥取と

続ける。

「自然素材に近い民藝のものをすることは、すごく心の癒しになると感じます。私は作り手でもありますが、自分が使っている情景が目につかぶものをお買い物して使って、たまに友人を食事に招いて好きなものたちをお披露目するという形で、作家さんをお援したいなあと思っています。皆さんにも楽しんでもらえたら」

民藝は古き良きものではなく、今なお県内でもたくさん作家たちが新しい作品を世に出し、その文化を受け継いでいる。日々の暮らしの近くにあるものだ。たくみ珈琲店は、作家たちが活躍できる舞台でもあり、その価値をたくさんの人に届ける場所になっていくに違いない。

「民藝は鳥取を誇れるものの一つだと思っています。まずは鳥取の人に

知り、振り返ってみたら実は当たり前前に家にもあった。そういう文化っていいなと思いました」

会社を共同経営する心強いパートナーもでき、想いを形にすることを決意。民藝館通りの活性化事業を進めていた新鳥取駅前地区商店街振興組合から運営を受託する形で、鳥取民藝美術館の監修と協力を得て、スタートした。

まちなかで店舗デザインを手がけてきた友人でもある木工職人の本間公さんに依頼。働き手も含めて民藝に触れてもらえる店ができたという自負する。

改めて感じる民藝の魅力

電球色の暖かな灯りの店内には、落ち着いた時間が流れている。椅子は、鳥取民藝家具オリジナルやヨー



合同会社クラスト
やまね たいさ
山根大樹さん
工作社
ほんま あきら
本間 公さん
プロダクトデザイナー
かわさき ふみ
川崎富美さん

知って欲しい。知ることや使うことで、伝統や文化を深掘りしてもらい、きっかけになれば」と山根さん。民藝に触れられる店で、日常の景色が少し変わるかもしれない。



デザイナーとして働いていた時に鳥取民藝に出会い、惹かれていった。

「もともと地域で作られていた良いものを探し歩いて紹介する企画で、鳥取の窯を巡り延興寺窯を取材したのが最初で、そのうち鳥取民藝美術館の展示替えを手伝わせてもらうようになって。今は『YANAGIYA REPRODUCT』に参加し、郷土玩具の張り子面の作り手としての活動も始めました」

暮らしに民藝を

「民藝の器は食べ物にすごく合うなって。同じように人の手で作られた料理を盛り付けるものとして素直だなあと思う。自分が子どもの頃に使っていたものを、今母親から譲り受けていて、そこには昔の風景も記憶に刻まれている。そういうのもいい」

本間さんが言えば、川崎さんも



鳥取まちなか民藝スポット

鳥取民藝美術館・鳥取たくみ工芸店
鳥取市栄町651
TEL:0857-26-2367

たくみ割烹店
鳥取市栄町653
TEL:0857-26-6355

たくみ珈琲店
鳥取市栄町606 まるもビル1F
TEL:0857-51-1178



ときめきを生み出す活動を展開している山陰三ツ星マーケット®さんのセレクトで、まちなかのときめき瞬間を写真で紹介いたします！

カメラマンは、スマホだけで撮影したステキな写真を発信されているMASAさんです。

今号は、秋の紅葉や冬に雪化粧した姿も美しい久松山や、鳥取城跡の風景をお届けします。あわせて、散歩中にほっと一息できるおすすめスポットをご紹介します。



一瞬の七色



透き通る宝石橋



@sanin.mitsuboshi.market



威風堂々



見上げたら迫力ある石垣

鳥取城跡周辺 infomation

『鳥取城跡観光案内処・ときめき茶屋』

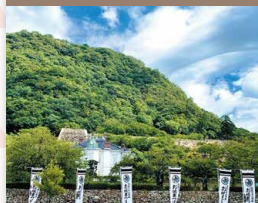


登録有形文化財の「桜寛苑 蔵」に期間限定オープン。山陰三ツ星マーケット®セレクトのお土産が並ぶ店内には、日替わりでクラフト作家が在廊。珈琲も楽しめます。

鳥取まちなかガイドの会による「まちなかガイド案内」は、1日2回(10:30～/13:30～)の開催。無料で予約不要ですので、気軽にご参加ください。

営業時間：～11月25日(月)までの金・土・日・月 10:00～16:00

『久松山・国指定史跡「鳥取城跡」』



標高263mの低山で山歩きにも人気の久松山。鳥取城跡の歴史を感じられるスポットです。現在は「中ノ御門渡櫓門」を復元中。久松公園内の鳥取城跡・仁風閣展示館では、御城印と武将合戦印も販売しています。

『鳥取城跡ライトアップ』

鳥取城跡の石垣を幻想的な光で美しく彩る「鳥取城跡ライトアップ」が、好評開催中です。ぜひ現地でご覧ください。

開催期間：
～12月1日(日)まで 18:00～22:00

『若桜街道ぶらり影絵さんぽ』

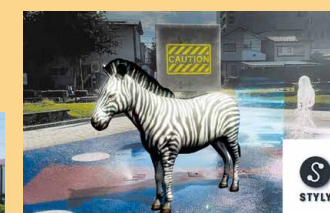
若桜街道商店街アーケード内では、16か所のシャッターに麒麟獅子舞や60回の節目を迎えた鳥取しゃんしゃん祭などの影絵をライトアップしています。新たなデザインが登場、おそろいの提灯の演出も注目です！

開催期間：～12月1日(日)まで 18:00～22:00

まちなかの取り組みをご紹介します/ とっとりまちづくり



鳥取駅周辺再整備に関する
ご意見を募集しています！

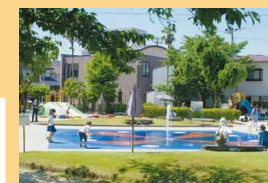


App Store Google Play

真教寺公園にシマウマ!? まちなかAR体験

スマホ・タブレットを使って、今までにない体験を！

専用のスマホアプリを使って特定の場所でスマホのカメラをかざすと、その場にはいないはずの動物たちが浮かび上がります！



紹介動画を公開しています!ぜひご覧ください→

アプリダウンロードはこちらから→

まちづくりワークショッププログラム(通称:まちワケ)

「まちワケ」とは?

都市部人材と地元人材で取り組む、空き家・空き店舗の利活用によるまちづくりを考えるプログラムです。

今年度のテーマは『まちなかの遊休不動産×企業課題』

地元企業が抱える課題を、空き家・空き店舗の利活用によって解決へ結びつけるプログラムを開催します。

スケジュール(予定)

- ・ショートプレゼン: 12/1(日) 10時～@オンライン
- ・中間発表: 1/8(水) 19時～@オンライン
- ・最終発表: 2/23(日) 13時～@リアル会場+オンライン



詳しい日程等はこちらをご確認ください!→



◎お問い合わせ先: 鳥取市 都市整備部 まちなか未来創造課 鳥取市幸町71鳥取市役所本庁舎5F 53番窓口
TEL:0857-30-8331 FAX:0857-20-3953 E-mail:machinakamirai@city.tottori.lg.jp

おでかけに新しい公共交通「とりモビ」を利用してみませんか?

相乗り型の公共交通「とりモビ」が実証運行中!(400円/回・エリア限定)

「100円循環バスくる梨」とあわせて、まちなかへのお出かけにぜひご利用ください。



「とりモビ」運行エリア・利用方法→



100円バス「くる梨」→



◎お問い合わせ先: 鳥取市 都市整備部 交通政策課 鳥取市幸町71鳥取市役所本庁舎5F 54番窓口
TEL:0857-30-8326 FAX:0857-20-3953 E-mail:kotsuseisaku@city.tottori.lg.jp

